

本校の人材育成

副校長 田中 大輔

「教育は人なり」という言葉を聞いたことがあるかと思います。「人は信頼できる人間の話は聞き入れるが、そうでない人間の話は聞く耳をもたない。」という意味の言葉です。日々、児童・生徒と向き合い、教育活動を行う教員にとって常に胸に刻んでおくべき言葉である、と私は考えています。本校では総勢25名の教員が指導に関する技術を身に付け、児童・生徒、保護者の皆様から教師として信頼される人間になるべく、様々な研修を実施し、人材育成を行っています。その取組をいくつか紹介いたします。

管理職、養護教諭を除く全教員が年間1回の研究授業を行っています。(経験年数3年未満の若手教員は年間3回) 授業の後は研究協議会を行い、授業の組み立て方、言葉の掛け方、効果的な教材、等々の指導における課題を確認し、次回の授業に生かします。研究授業の他にも外部専門員による授業観察・指導・助言を取り入れ、授業改善、授業力向上に努めています。

長期休業日中には、講師を招いての「人権尊重教育」「ICT教育」「学習指導」の研修会の他に「教材発表会」を行いました。「教材発表会」では、全教員が自作教材を持ち寄り、使用方法、教育効果等のプレゼンを行いました。全員のプレゼン後には、校長、副校長の厳正な審査により、「グッド教材賞」を選出しました。

本校の25名の教員の内、8名が教員経験年数3年未満の若手教員です。児童・生徒から見ればベテランであろうと若手であろうと同じ「先生」です。若手教員の教師力を高めるため、その育成には特に力を注いでいます。先述の研究授業・研修会や東京都による必須研修の他に、都内特別支援学校と協定を結び、2日間の実地研修を行っています。実際の指導場面に入り、体験をすることで生きた指導技術を学ぶことができます。

職員室内で執務をしていると「あの教材は良かった。」「あの場面では、こういう言葉をかけるべきだった。」等々の教員の会話が耳に入ってきます。そんな会話を聞く度に非常に嬉しく、かつ頼もしく感じています。これからも児童・生徒、保護者、関係者の皆様から信頼されるよう、学び続ける学校でありたいと思っています。

夏季休業日中の研修会の様子



外部専門員による授業観察の様子



東京2020オリンピック・パラリンピックレガシー教育プログラム

10月11日火曜日に、荒馬座の皆さんをお迎えしました。今年度で3年連続の交流なので、児童・生徒は馴染んでいて、荒馬座の方に朝から直接挨拶に行く生徒もいました。のびろ生対象の第一部では、「かがやけ囃子」を太鼓でにぎやかにたたいた後、荒馬座の皆さんと「荒馬踊り」を踊りました。今年は、一緒に輪になって踊ることができ、華やかに盛り上がりました。福祉園生対象の第二部では、「ぶちあわせ太鼓」の回転部分をたたいた後、初めての横打ちとなる「三宅太鼓」に挑戦しました。動物の命をいただいて作った太鼓を使っていることに感謝の気持ちを込めることも教えていただきました。交流の積み重ねにより、伝統文化への興味はもちろんのこと、人と人の出会いの楽しさも深まった、東京2020オリンピック・パラリンピックレガシー教育プログラムとなりました。

(文責：森 澄美子)



11月の予定

1	火	
2	水	学校公開
3	木	文化の日
4	金	漢字検定
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	学校運営連絡協議会
9	水	避難訓練
10	木	しいの木集会
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	レガシー教育プログラム(車いすバスケットボール)
17	木	介護等体験
18	金	介護等体験
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	勤労感謝の日
24	木	短縮授業日 13時50分下校
25	金	保護者通信発送日
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	高等部校内実習

小学部～校外学習・修学旅行～

朝晩と冷え込む日も増えてきましたが、小学部の児童たちは学校では、元気に過ごしています。食欲の秋、スポーツの秋ということで、調理学習や体育等、一人一人が目の前の活動・授業を楽しみながら学びにつなげています。10月14日(金)には、こどもの国キッズダムに校外学習・修学旅行に行ってきました。バスや電車では、運賃の支払いを行い、マスクをしっかりとつけて乗車することができました。キッズダムでは、ブランコや滑り台があるアスレチックやトレイン、トランポリンなど、時間いっぱい遊び、一日の体験を十分満喫している様子が表情から伝わってきました。事前学習では、模造紙に写真を貼って掲示物作りを行います。来校した際には、ぜひ拝見していただきたいと思います。



(文責：山田 麻衣)

中学部～地域貢献活動～

10月14日(金)に総合的な学習時間に奉仕活動でゴミ拾いを実施しました。各生徒は、学校周辺の道路や道端に落ちているゴミを丁寧に一つずつ拾ってゴミ袋へ入れることができました。生徒たちが、ビニール袋、ペットボトル、空き缶などのごみを見付け手を伸ばし、拾って自分で袋に入れている姿が印象的でした。学校へ帰る時は、学校周辺をきれいにすることができた達成感から自然と誇らしい表情となっていました。生徒一人一人の成長を感じることができました。



(文責：江口 太郎)

高等部～一泊二日宿泊防災訓練～

高等部では9月30日(金)から10月1日(土)にかけて2年ぶりに宿泊防災訓練を行いました。9月30日の放課後に避難訓練を行い体育館に集合した後、宿泊防災訓練を開始しました。始めに「東京防災」の冊子を使って防災学習を行い、自助・共助の考え方や日頃の備えについて学習しました。その後は停電を想定して校内の照明を消し、発電機から電源を取った投光器の明かりの中で非常食のカレーライスを食べました。災害時は日常生活に必要な物はほとんど手に入りません。そのため、ビニール袋を使った簡易ランタンやズボンを使ったリュック作り等の体験も行いました。就寝は感染症対策を取り、各自距離を取って、広げた段ボール板に毛布を敷いて寝ました。非常時の困難さをあらかじめ知った上で災害に備えることが大切と感じた宿泊防災訓練でした。(文責：古山 武)



